

平成 18 年 3 月期 第 3 四半期業績の概況 (連 結)

平成 18 年 1 月 25 日

上場会社名 オンキヨー株式会社 (URL http://www.jp.onkyo.com/)
 コード番号 6729
 代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 大舘 直人
 問合せ先責任者 役職名 取締役執行役員経営企画室長 氏名 岡谷 茂美

上場取引所 JASDAQ
 本社所在都道府県 大阪府
 TEL (072) 831 - 8001

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無

2. 平成 18 年 3 月期第 3 四半期業績の概況 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 12 月 31 日)

(1) 売上高 (又はこれに相当する事項) (百万円未満切捨て)

	百万円	%
平成18年3月期第3四半期	31,458	(2.5)
平成17年3月期第3四半期	30,678	(3.9)
(参考)平成17年3月期	44,424	(1.0)

(注) 1. 売上高 (又はこれに相当する事項) は、当該四半期までの累計値であります。

2. パーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

3. 売上高の数値は監査法人による監査を受けておりません。

[売上高に関する補足説明]

当第 3 四半期の売上高は、780百万円増収 (前年同期比2.5%増) の31,458百万円となりました。

海外市場におきましては、米国・欧州市場が主導する形で、海外での売上が順調に推移し、特に米国市場においてホームシアター・インナ・ボックス (HTiB) やフルサイズAVレシーバーの好調な売上に牽引され、前年同期比1,264百万円の増収となりました。また、欧州市場でも直販体制の整備に伴い、前年同期比1,103百万円の増収となりました。これに加えて、昨年度設立した中国の販売子会社 (上海安橋国際貿易有限公司) 及び中国の製造子会社 (上海恩橋電子有限公司) においても、順調に売上が推移し、それぞれ前年同期比増収となっております。

しかしながら国内市場におきましては、デジタルオーディオプレーヤーの急激な普及等により、従来のオーディオ市場は予測を超えて縮小傾向が進行し、従来型のミニコンポシステムが苦戦を強いられ、売上高が前年同期比1,763百万円の減収となりました。

なお、当社グループの決算期は、親会社である当社が3月末であり、その他の子会社は全て12月末であります。よって、上記の売上高および補足説明は、当社が4月から12月、子会社が1月から9月についての記載となっております。

また、平成18年1月20日に公表いたしました連結業績予想は、子会社の1月から12月までの売上高および損益状況を織り込んだ数値となっております。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当事項はありません。

3. 平成 18 年 3 月期の連結業績予想 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	円	銭
通 期	44,500	800	1,050	50	65

[業績予想について]

平成 18 年 1 月 20 日の「業績予想の修正および特別損失の発生に関するお知らせ」にて公表いたしました連結業績予想に修正はありません。

[業績等の予想に関する注意事項]

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。